

# 駿河台大学教職論集

第1号

(改訂版)

No.1

2015

## 目次

### 論考

- 「教職論」の展開と受講生の反応の分析 ..... 吉住 知文(1)
- 「教育方法の実際」の試論  
～戦後世代の「戦時」体験教育の道筋(2)：井上ひさし原作『父と暮らせば』の  
教室公演－歴史認識形成のプロセスを考える～ ..... 滝澤 民夫(11)
- 明治中期における子どもの「貧困」と教育  
～小学簡易科の教育課程を中心に～ ..... 山口 真里(31)
- シティズンシップ教育を授業に取り入れる視点  
～ユネスコ・ユニセフの教育を手がかりとして～ ..... 金沢はるえ(43)
- 「近現代日本史」講義における靖国神社問題 ..... 木村 卓滋(55)

### 教職課程の記録

- 2014年度教職課程の記録 ..... 吉住 知文(65)

# 駿河台大学教職課程委員会

## 『駿河台大学教職論集』 第1号（改訂版）

### 執筆者紹介（掲載順）

- 吉 住 知 文（経済学部教授 教職論、地理学概論Ⅰ・Ⅱ担当）  
滝 澤 民 夫（法学部非常勤講師 教職論、公民科教育法Ⅰ担当）  
山 口 真 里（経済学部非常勤講師 教育学概論担当）  
金 沢 はるえ（法学部非常勤講師 社会科教育法担当）  
木 村 卓 滋（近現代日本史担当）

### 教職論集第1号（改訂版）の発行について

駿河台大学は、2016年度より、大学紀要の発行形式を駿河台大学学術情報リポジトリによる公開に一本化し、印刷物の刊行を行わないことになりました。これに伴い、教職論集編集委員会は、駿河台大学教職論集第2号より、新規に体裁を整えることに致しました。

教職論集第1巻は、印刷物としても刊行されており、学術情報リポジトリと印刷物とでその体裁が異なるのは適切でないと考えましたが、教職論集第1号は印刷部数が少なかったこと、学術情報リポジトリによる教職論集の公開性が高い等の理由により、表紙、目次・執筆者の紹介については、新規の体裁に統一することに致しました。

また、論考等の形式面については、駿河台大学教職論集の書式及び校正に関する細則の定めに従い、論文タイトル、執筆者名、節・項の字体等、最小限の統一を図りました。

さらに、教職論集第1号では予算の関係で掲載できなかった滝澤民夫先生の「教育実践の記録資料」を滝澤論文の後に追加掲載することにしました。大学の授業実践におけるアクティブ・ラーニングを考えるための資料であるとともに、本学教職課程にとっても貴重な資料となっております。

なお、上記改訂の趣旨については、教職論集第1号に論文を掲載している執筆者より承諾を得ております。

(2017年4月1日 教職課程主任)